

## (仮称) 彦根総合運動公園整備計画の検討状況等について

### 1 第 1 種陸上競技場の施設規模等の検討

○第 2 回建築検討懇話会 (7 月 1 日開催)

#### 【検討案の説明】

- ・陸上競技場のスタンドの屋根の架設範囲、照明設備形式などにより、現計画に 3 パターンを加えた 4 つの検討案を比較した。 ※別図 1 参照

		検討案			
		ケース I (現計画)	ケース II	ケース III	ケース IV
収容人数		20,000 人程度	15,000 人	15,000 人	15,000 人
固定席数		15,000 席程度	7,000 席 (バックスタンドに固定席設置可能)	7,000 席	7,000 席
屋根架設範囲	メインスタンド	全面	全面	全面	一部
	バックスタンド	全面	一部	なし	なし
最高高さ		メインスタンド、バックスタンド屋根 23.9 m	メインスタンド、バックスタンド屋根 23.9 m	バックスタンド側照明柱 42.8 m	メインスタンド側照明柱 46.4 m
照明設備形式と設置高さ (照明器具下端)	メインスタンド	屋根先設置 22.4 m	屋根先設置 22.4 m	屋根先設置 22.4 m	照明柱 (2 基) 42.1 m
	バックスタンド	屋根先設置 22.4 m	屋根先設置 22.4 m	照明柱 (2 基) 38.5 m	照明柱 (2 基) 38.5 m
特徴		光害を抑制可能。	光害を抑制可能。	バックスタンド側に光害対策が必要。	光害対策が必要。

(高さの値は試算値)

○主な意見 ※別図 2 参照

#### 【屋根・照明柱】

- ・施設規模が小さくなることは支障ないが、周辺景観との調和や西側住宅地に対する光害への配慮から照明柱は良くない。
- ・周辺地域への影響を考慮すると屋根先照明が望ましい。
- ・彦根城天守からスタンドが見えないよう屋根の架設範囲を考慮すべき。
- ・メインスタンドとバックスタンドの屋根は、同じ高さで揃えることが望ましい。

#### 【色彩】

- ・明度や彩度を抑えて、周辺景観と調和できる色彩がよい。

## 2 彦根市金亀公園の整備との連携 ※別図3参照

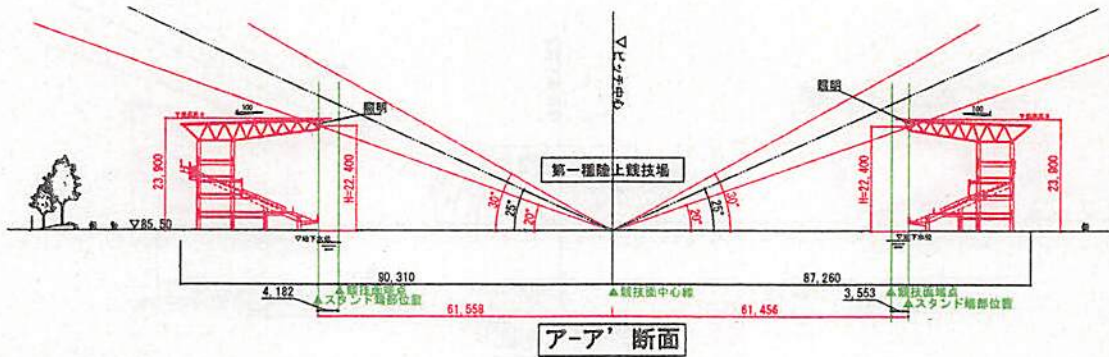
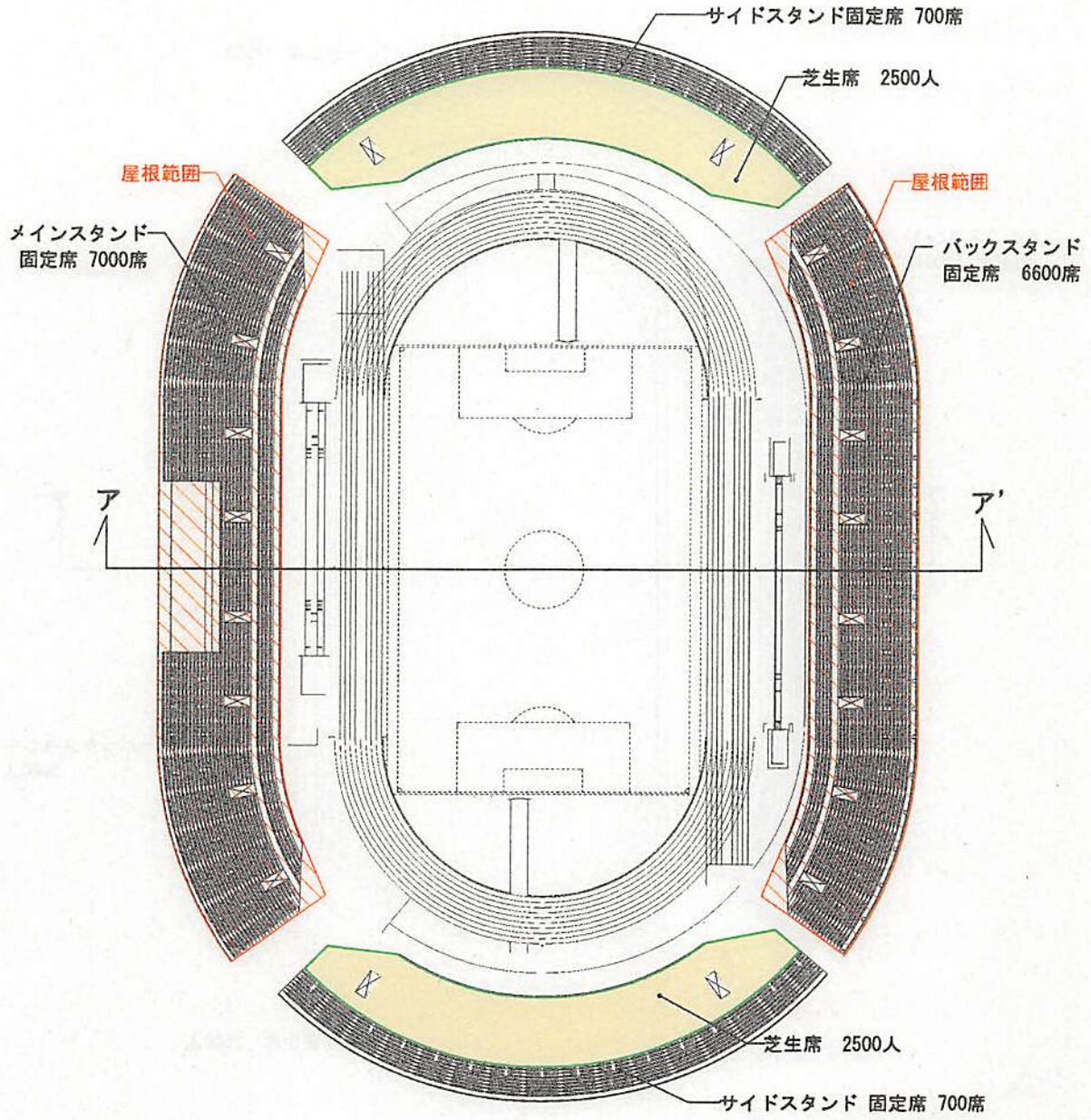
○現在の彦根総合運動場は隣接する金亀公園と一体的に利用されていることを踏まえ、運動施設や駐車場など両公園の機能補完による相互活用をより一層強化し、利用者の利便性を図る。

○金亀公園の区域を（仮称）彦根総合運動公園の区域まで拡大して、彦根市と連携しながら一体の都市公園として整備する。

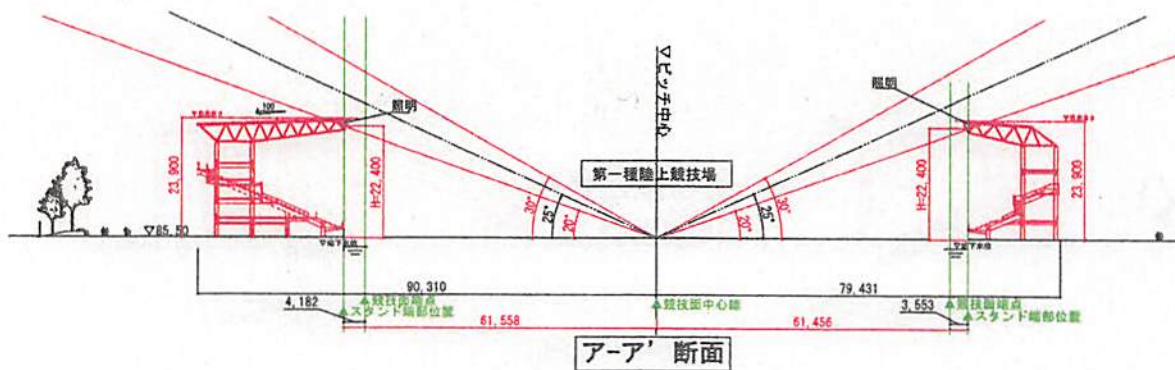
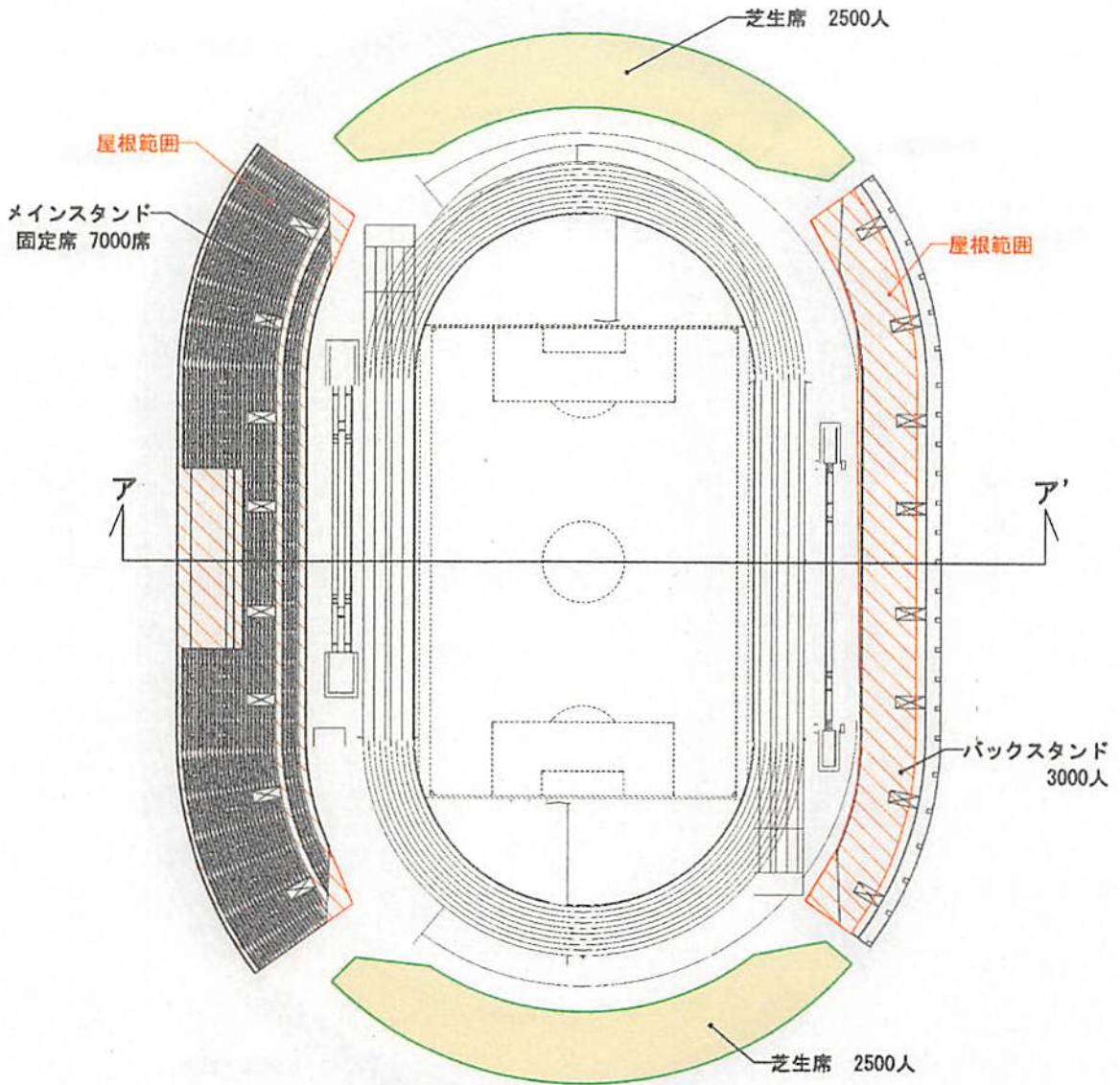
## 3 今後の予定

- ・7月下旬 第3回第1種陸上競技場建築検討懇話会  
⇒第1種陸上競技場の建築基本設計の条件の検討
- ・9月 滋賀県都市計画審議会付議（予定）  
⇒公園整備基本設計の取りまとめ

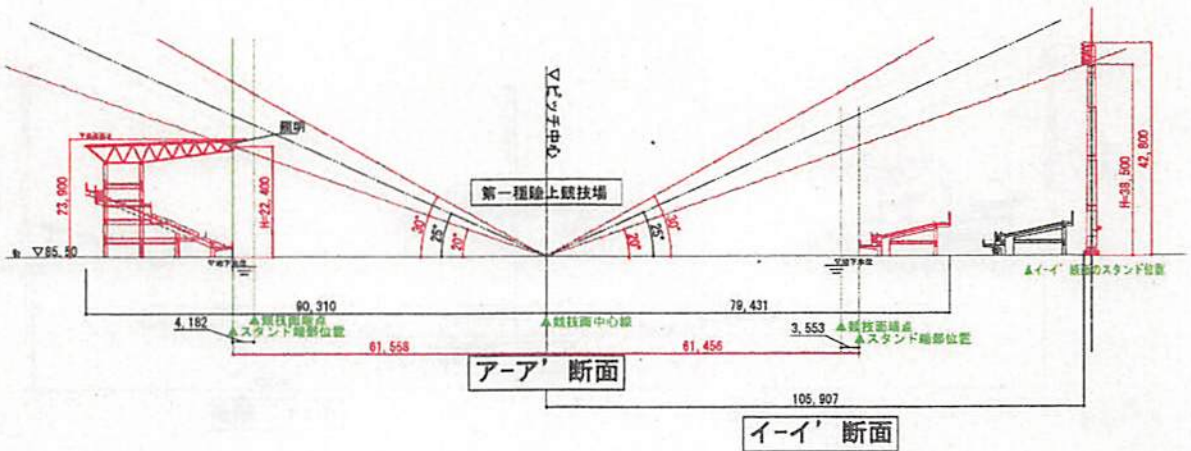
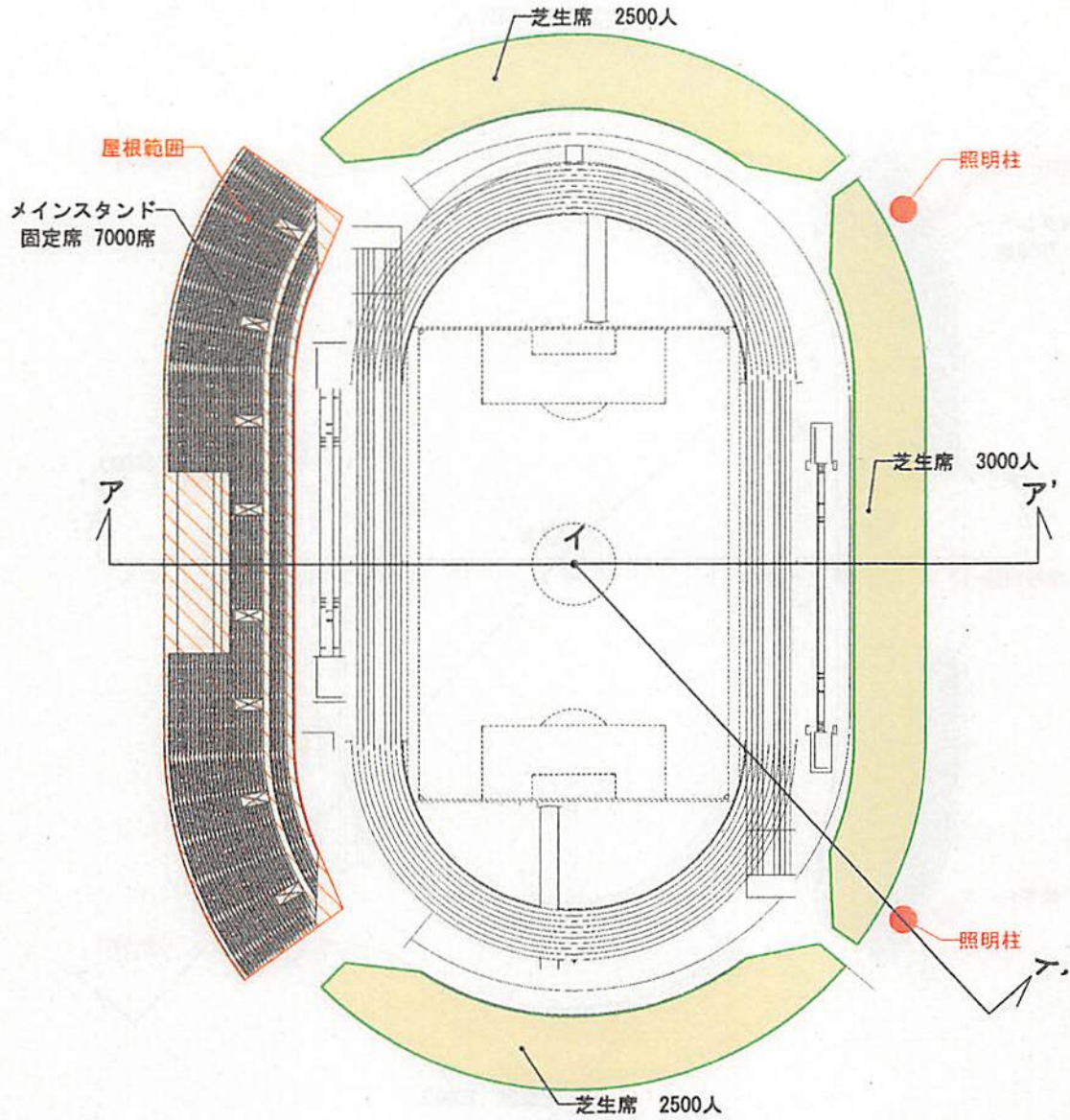
# 第1種陸上競技場の施設規模の検討案 (イメージ図) ケース I



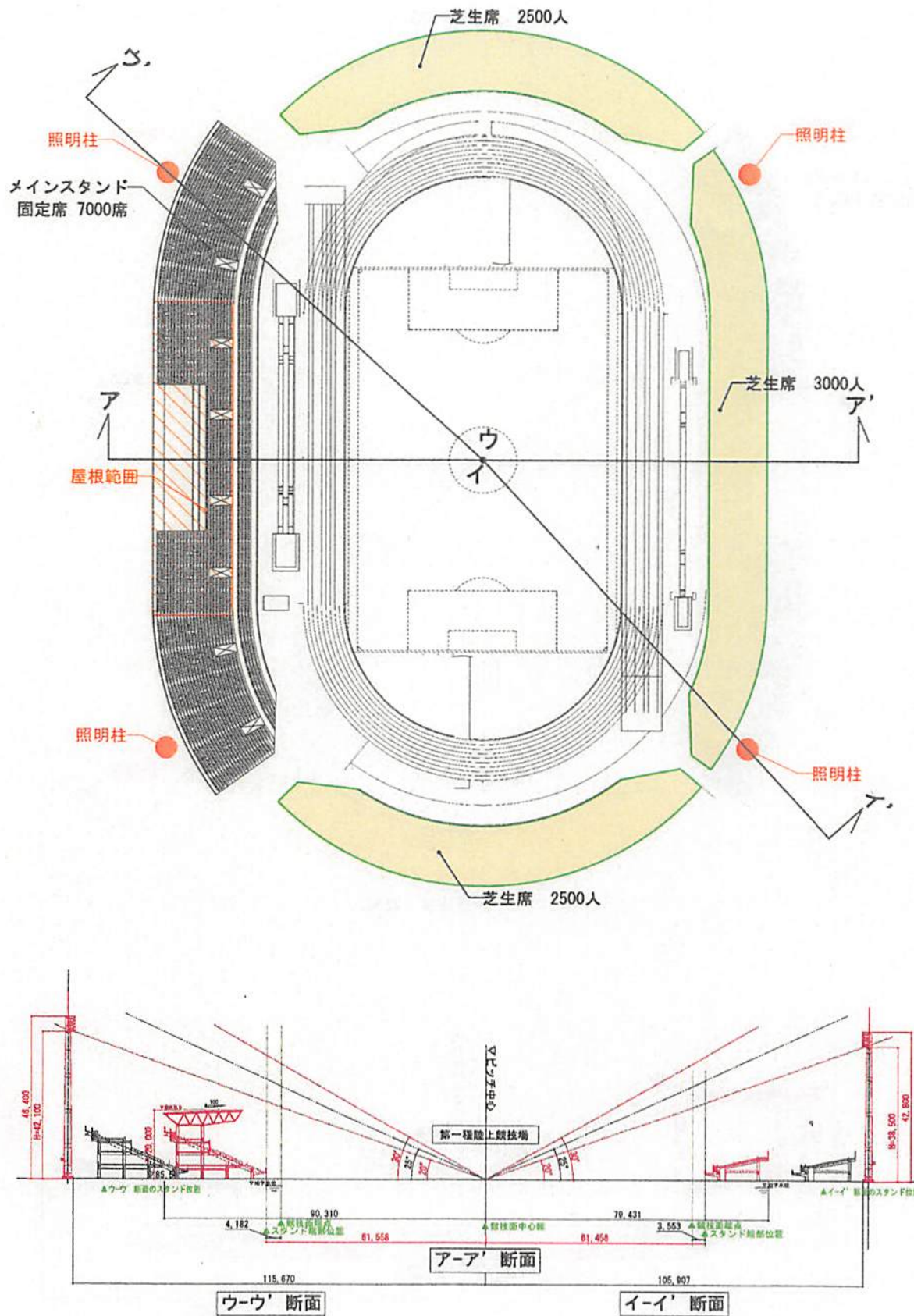
# 第 1 種陸上競技場の施設規模の検討案 (イメージ図) ケース II



# 第1種陸上競技場の施設規模の検討案（イメージ図） ケースⅢ



# 第1種陸上競技場の施設規模の検討案（イメージ図） ケースⅣ



# 各ケースにおける第1種陸上競技場の見え方

①場内、エントランス広場からの見え方  
ケースⅠ



ケースⅡ



ケースⅢ



ケースⅣ





②彦根城天守からの見え方  
ケースⅠ



ケースⅡ



ケースⅢ



ケースⅣ



